

学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和3年8月26日時点

開催日時	開催場所・形式	名称
8月28日（土） 13：30～16：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「ポストコロナ社会を見据えた睡眠・生活リズムのあり方～コロナ自粛から学ぶ～」
9月11日（土）	オンライン開催	日本学術会議緊急フォーラム 「新型コロナウイルス感染症の災害級流行急拡大への対応」
9月14日（火） 13：30～16：20	オンライン開催	公開シンポジウム 「食を通して全ての人に健康を」
9月18日（土） 13：00～17：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「「水」と「水循環」の研究最前線—21世紀の多分野協創研究にむけて」
9月18日（土） 13：30～16：45	オンライン開催	学術フォーラム コロナ禍を共に生きる [新型コロナウイルス感染症の最前線-what is known and unknown#2] 「新型コロナウイルス感染症の臨床的課題、対策と今後の方向性：臨床の現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。」
9月18日（土） 14：00～17：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「歴史認識と植民地責任」
9月19日（日） 13：30～17：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「コロナ禍における社会の分断：ジェンダー格差に着目して」
9月20日（月） 13：00～17：00	オンライン開催	近畿地区会議主催学術講演会 「カーボンニュートラル：2050年までに何をすべきか」
9月22日（水） 13：30～17：10	オンライン開催	公開シンポジウム 「海空宇宙のCOVID-19対応と今後のパンデミック対応に向けて」
9月25日（土） 13：00～16：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「WITH/AFTER コロナ時代の看護とデジタルトランスフォーメーション」

ポストコロナ社会を見据えた 睡眠・生活リズムのあり方

～コロナ自粛から学ぶ～

令和3年

8月28日 

13:30 ▶ 16:00

オンライン開催

開催の詳細については
右記サイトから
ご確認ください



PROGRAM

(司会) 三島和夫 (日本学術会議連携会員・秋田大学大学院医学系研究科教授)

13:30 開会の挨拶
深田吉孝 (日本学術会議第二部会員・日本時間生物学会理事長・東京大学大学院医学系研究科特任研究員)

講演

13:40 リモート社会と体のリズム
本間さと (日本学術会議連携会員・札幌花園病院 睡眠医療センター長)

14:05 幼児を対象とする双方向性睡眠啓発アプリの社会実装の経験から
谷池雅子 (大阪大学 連合小児発達学研究科教授)

14:30 一般生活者の生活リズムの変容について
駒田陽子 (明治薬科大学 リベラルアーツ 准教授)

14:55 ~ 休憩 (10分)

15:05 働き方に及ぼした光と影について
高橋正也 (労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター長)

指定発言

15:30 社会における睡眠・生活リズムの変化に対し睡眠医療が果たすべき役割
内山 真 (日本睡眠学会理事長、東京足立病院院長)

15:35 今後の研究で求められること - 基礎研究の側面から -
吉村崇 (日本学術会議連携会員・名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授)

まとめ

15:40 シンポジウムの総括
三島和夫 (日本学術会議連携会員・秋田大学大学院医学系研究科教授)

15:50 閉会の挨拶
尾崎紀夫 (日本学術会議会員第二部会幹事・名古屋大学大学院医学系研究科教授)

事前質問は
こちらから



問い合わせ先： 公開シンポジウム「ポストコロナの睡眠・生活リズム」事務局
E-mail: kokoro-res@med.akita-u.ac.jp

主催：日本学術会議 基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・心理学・教育学委員会合同 生物リズム分科会
共催：日本時間生物学会・日本睡眠学会

日本学術会議緊急フォーラム「新型コロナウイルス感染症 の災害級流行急拡大への対応」の開催について

1. 主 催：日本学術会議第二部、一般社団法人日本医学会連合
2. 後 援：調整中
3. 日 時：令和3年9月11日（土） 13:25 - 16:00
4. 場 所：オンライン開催（YouTube Live 配信 9/11(土)13:25～9/20(月)
10:00 まで視聴可能）
5. 開催趣旨：

デルタ株の蔓延などから新型コロナウイルス感染症の流行が全国で急拡大しており、災害級の人的被害を生じるのではないかと危惧されている。本フォーラムでは、流行予測体制、人流抑制、変異株の脅威、治療、陽性者の同定と管理・医療調整などの現場で新型コロナウイルス感染症と対峙されている基礎医学・臨床感染症学・感染症流行予測などの分野の専門家に、行政・保健・医療に現在必要な緊急対応をご提言いただく。
6. 次 第（調整中）：

総合司会：武田洋幸（日本学術会議会員第二部部長、東京大学副学長・大学院理学系研究科教授）

13:25-13:30 開会の辞
望月眞弓（日本学術会議会員副会長、慶應義塾大学名誉教授）

13:30-14:00 流行予測と予測に必要な体制（仮）
北野宏明（新型コロナウイルス感染症対策・AI シミュレーション検討会議座長、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所代表取締役社長、人工知能研究開発ネットワーク会長）

- 14:00-14:30 新型コロナウイルスの懸念される変異株：なぜ変異株は脅威なのか？
渡辺登喜子（大阪大学微生物病研究所教授）
- 14:30-15:00 医療の現場から
大曲貴夫（国際医療研究センター国際感染症センター長）
- 15:00-15:30 （講演タイトル調整中）
田中純子（日本学術会議連携会員、広島大学 理事・副学
長・大学院医学系研究科教授）
- 15:30-16:00 まとめと閉会の辞
磯博康（日本学術会議第二部会員、日本医学会連合副会長、
大阪大学大学院医学系研究科教授、国立国際医療センター
グローバルヘルス政策研究センター長）

詳細は、日本学術会議ホームページ

（<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/315-s-0911.html>）に掲載いたします。

また 8/30～9/8 まで事前質問を受け付けます。（URL はホームページに掲載）

連続公開シンポジウム

SDGs達成に向けた農芸化学の挑戦

第1回 食を通して全ての人に健康を

2021年 9月14日 (火)



参加費無料

事前参加申込制

ウェブ開催 どなたでも参加できます。
<https://forms.gle/Em7xBnyUVinbWY7r7>

13:30~13:45

挨拶: 清水 誠

(日本学術会議連携会員 農芸化学分科会委員, 東京大学名誉教授)

来賓挨拶: 松山 旭

(日本農芸化学会会長, キッコーマン株式会社取締役常務執行役員)

趣旨説明: 竹中 麻子

(日本学術会議連携会員 農芸化学分科会幹事, 明治大学教授)

13:45~14:15

「食と運動を通じた健康づくり」

宮地 元彦 (早稲田大学スポーツ科学学術院教授, 医薬基盤・健康・栄養研究所部長)

14:15~14:45

「食による腸内細菌叢の改善と免疫機能の強化」

田中 沙智 (信州大学農学部准教授)

14:45~15:15

「食品成分と薬物の相互作用」

堀 里子 (慶應義塾大学薬学部教授)

15:15~15:45

「健康長寿に資するAI栄養の役割」

阿部 圭一 (医薬基盤・健康・栄養研究所顧問)

15:45~16:15

「データ栄養学が教える健康に良い食べ物と食べ方」

佐々木 敏 (東京大学大学院医学系研究科教授)

16:15~16:20

閉会挨拶: 熊谷 日登美

(日本学術会議第二部会員 農芸化学分科会委員長, 日本大学教授)

後援:

日本農芸化学会

日本栄養・食糧学会

日本食品科学工学会

日本フードファクター学会

お問い合わせ: 熊谷 日登美

E-mail: SCJ25.Symposium@gmail.com

「水」と「水循環」 の研究最前線

21世紀の多分野協創研究にむけて

人口増加、経済発展、気候変動が想定される将来における十分な量と良好な水質を有した水の供給の確保は、私たちが解決すべき今世紀の最重要課題の一つである。本シンポジウムでは多様な学問領域を俯瞰し、様々な地域における人間活動の中で変容する「水」と「水循環」研究の最前線を紹介し、分野横断・多分野協創研究の現状を示し未来へ向けたさらなる発展を展望する。

2021年9月18日(土)
13:00-17:00



オンライン開催
参加無料・要申込
(定員250名 先着順)

申込締切 2021年9月10日

<https://forms.gle/94rE2bGSfHP9sHFv8>

問合せ先

fsugita@cuc.ac.jp (杉田文)

主催 地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会

共催 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAHS 小委員会、
水文・水資源学会、日本水文学会

後援 JpGU 大気水圏科学セクション、日本地下水学会、
IAH-Japan (国際水文地質学会日本支部)、
総合地球環境学研究所、地理学連携機構

総合司会：小森大輔 (日本学術会議連携会員 東北大学 准教授)

13:00 開会挨拶：近藤昭彦 (日本学術会議連携会員 千葉大学 教授)

13:05 趣旨説明：谷口真人 (日本学術会議連携会員 総合地球環境学研究所 副所長・教授)

基調講演

13:10 水循環研究の最前線
沖大幹 (日本学術会議第三部会員 東京大学 教授)

第一部

13:35 人新世における生存基盤としての水とその連環
谷口真人 (日本学術会議連携会員 総合地球環境学研究所 副所長・教授)

13:50 陸域から海域への水・物質供給とその変化
張勁 (日本学術会議連携会員 富山大学 教授)

14:05 水循環と土砂動態を統合する環境防災学の視座
竹門康弘 (京都大学 准教授)

14:20 水・エネルギー・食料ネクサス：グローバルとローカルを繋ぐ
和田義英 (国際応用システム分析研究所 プログラム長)

第二部

14:45 里沼を考える 一印旛沼の事例から
近藤昭彦 (日本学術会議連携会員 千葉大学 教授)

15:00 持続可能な森林管理と流域の水資源利用にむけて
戸田浩人 (東京農工大学 教授)

15:15 地下水ガバナンスの研究動向
千葉知世 (大阪府立大学 准教授)

15:30 湧き水と生物文化多様性 一琉球弧の事例から
高橋そよ (琉球大学 准教授)

15:45 市民協働による地下水調査とその活用
杉田文 (日本学術会議連携会員 千葉商科大学 教授)

総合討論

16:10 司会：寶馨 (日本学術会議連携会員 京都大学 教授)

コメンテーター：山下洋 (京都大学 特任教授)

16:50 閉会挨拶：鈴木康弘 (日本学術会議連携会員 名古屋大学 教授)

新型コロナウイルス感染症の 臨床的課題、対策と今後の方向性

臨床の現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。

2021年9月18日(土) 13:30~16:45



新型コロナウイルスワクチンの一般国民への接種が始まろうとしています。本学術フォーラムでは、専門家の先生にお願いして、現在までに得られている科学的知見を一般市民に分かりやすくお話しいただくとともに、ワクチン開発の現状と問題なども市民とともに共有したいと考え、日本学術会議と日本医学会連合が共同で企画し、開催するものです。なお、本学術フォーラムは、日本学術会議第二部執行部が中心となって企画する学術フォーラムシリーズ「新型コロナウイルス感染症の最前線 - what is known and unknown」の一つです。

主催：日本学術会議、日本医学会連合

後援：日本生命科学アカデミー

参加フォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>



司会：名越澄子・北川雄光(日本学術会議第二部会員兼日本医学会連合理事)
 挨拶：梶田隆章(日本学術会議会長) 門田守人(日本医学会連合会長)

「新型コロナウイルスが引き起こす呼吸器感染症」

大曲貴夫(国立国際医療研究センター国際感染症センター長)

「新型コロナウイルスと妊娠・出産について」

山田秀人(日本産婦人科感染症学会理事・手福溪仁会病院不育症センター長)

「新型コロナウイルス感染症が高齢者にもたらしたもの」

岩田充永(藤田医科大学救急医学・総合内科教授)

「新型コロナウイルス感染症が引き起こす脳とこころの問題」

尾崎紀夫(日本学術会議第二部会員)

まとめ：飯野正光(医学会連合副会長)

閉会の挨拶：武田洋幸(日本学術会議第二部部長)

日本学術会議公開シンポジウム

「歴史認識と植民地責任」

《趣旨》

グローバル化が生み出す矛盾や格差拡大、国内外における分断・亀裂の深化、さらには COVID-19 蔓延を引き金とする社会的・経済的危機等を背景に、現在世界のどの地域・社会でも急激な変化が進行していますが、その際、たとえば「BLM (ブラックライブズ・マター)」運動や「ジェンダー問題」のような現代的な課題の背後に、実は複雑な歴史的背景が存在すること、危機を解決しより良い社会を築くためには正面から歴史と向き合うことが必要なことに多くの人が気づき始めています。

長らくアジア地域で懸案となってきた「歴史認識」問題もまさにこのような問題の一つであって、より広い世界史的文脈に位置づけ、学術的知見を活かして、客観的に検討・議論すべき問題ではないでしょうか？

本シンポジウムでは戦争責任および近年提起されている「植民地責任」という概念を手がかりに、近現代のアジアと日本の歴史的経験を検証すると共に、「記憶」や、歴史認識・歴史意識の形成というテーマが持つ普遍性、グローバルな広がりに着目し、世界史的視野からの分析を試みます。多角的検討を通じて問題の理解を深め、未来への展望を探ります。

《日時・形式》

日時：2021年9月18日(土) 14:00~17:00

開催形式：オンライン形式 (ZOOM ウェビナー)

参加費無料・要事前申込み

参加希望者は氏名、所属機関等(任意)を記載の上、メールで以下までお申し込みください。後日、接続用 URL を送付(8月20日以降、順次)します。

[asiascj20210918\(a\)gmail.com](mailto:asiascj20210918(a)gmail.com) ※ (a) を@にしてお送りください。

《プログラム》

司会：久保亨(日本学術会議連携会員、信州大学特任教授)

栗田禎子(日本学術会議会員、千葉大学教授)

14:00 開会の辞：吉澤誠一郎(日本学術会議連携会員、東京大学教授)

挨拶：川島真(日本学術会議連携会員、東京大学教授)

14:20 趣旨説明

14:30 報告1：朝鮮近代史研究の立場から

愼蒼宇(法政大学教授)

15:00 報告2：戦争責任・アジアにおける戦後補償問題の角度から

内海愛子(恵泉女学園大学名誉教授)

15:30 報告3：世界史的視角——植民地責任と帝国の「記憶」、歴史意識のあり方

井野瀬久美恵(学術会議連携会員、甲南大学教授)

16:00 総合討論

17:00 閉会

主催：日本学術会議 アジア研究・対アジア関係に関する分科会

共催：科研費基盤研究(B) 20H01463 中国の世界秩序観の歴史的変遷と現在

コロナ禍における社会の分断 ジェンダー格差に着目して

司会：中谷文美

日本学術会議連携会員・岡山大学文明動態学研究所教授

13:30~13:40

開会挨拶

開会挨拶：柘植あづみ

日本学術会議連携会員

明治学院大学副学長・社会学部教授

企画趣旨説明：白波瀬佐和子

日本学術会議会員

東京大学大学院 人文社会系研究科教授

13:45~14:25

1. 母親就労に着目して

湯澤直美

日本学術会議連携会員

立教大学コミュニティ福祉学部教授

山口慎太郎

東京大学大学院経済学研究科教授

14:25~15:05

2. 家族と医療現場に着目して

筒井淳也

日本学術会議連携会員・立命館大学産業社会学部教授

武藤香織

日本学術会議連携会員・東京大学医科学研究所教授

15:05~15:45

3. 政治・国際動向に着目して

竹中千春

日本学術会議連携会員・立教大学法学部教授

三浦まり

日本学術会議連携会員・上智大学法学部教授

15:55~17:00

フリーディスカッション

(モデレーター：白波瀬佐和子)

討論者：

大沢真理

日本学術会議連携会員・東京大学名誉教授

谷口洋幸

日本学術会議連携会員・青山学院大学法学部教授

日本学術会議 公開シンポジウム お申込 (オンライン開催)

お申込は以下のリンクもしくは
右のQRコードからお願いいたします。

https://u-tokyo-ac.jp.zoom.us/webinar/register/WN_tFRggedDShGtwMPtxadRfA



コロナ禍は、全地球を巻き込んだ社会リスクになりました。しかし、個々人が実際に受けるリスクの中身や程度は、ジェンダー、年齢、国籍、人種といった属性によって大きく異なります。日本においては特にジェンダー格差が大きいこともあり、女性や女の子たちへの影響が深刻であるとみなすべきデータが存在します。そして、コロナ禍は、これまで長きにわたって存在したジェンダー格差を露呈させました。

本シンポジウムでは、学術として何が出来るか、何をなすべきかを議論します。具体的には、これまで解決・解消されてこなかった日本の深刻なジェンダー格差について、コロナ禍の現在でこそ原因と解決の糸口までを視野に入れ、検討を試みます。特に、経済学、社会学、政治学等の社会科学の観点から、学術における政策議論の意味を探りたいと考えています。

2021年 9月19日 (日)

13:30~17:00

主催：日本学術会議社会学委員会ジェンダー研究分科会・日本学術会議経済学委員会・日本学術会議政治学委員会・社会学委員会・経済学委員会合同包括的社会政策に関する多角的検討分科会

後援：東京大学現代日本研究センター



UTokyo
Center for Contemporary
Japanese
Studies

お問い合わせ

東京大学現代日本研究センター事務局

Email: contact@tcjs.u-tokyo.ac.jp

2050年までに何をすべきか

カーボン
ニュートラル
CO₂
NEUTRAL

2021
9/20 月・祝
13:00-17:00

参加費無料

事前参加申込制

どなたでも
ご参加いただけます。

参加申込
方法

参加を希望される方は、9月15日(水)までに下記 URL または QR コードより事前申込をお願いいたします。
(対面・オンライン参加共通)
<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0123.html>



場所

京都大学
国際科学イノベーション棟
シンポジウムホール

オンライン配信
併用

カーボンニュートラルは、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることである。ここで、「排出を全体としてゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いた、実質ゼロを意味する。カーボンニュートラルの2050年実現に向けて、政府や関係省庁は、電化の促進、電源の脱炭素化、再生可能エネルギーの最大限の導入、地域での再エネ倍増に向けた取組など、さまざまな技術の

社会実装施策を打ち出している。

今回の学術講演会では、こうした新たな技術の発展の中で、科学者と市民、自治体、産業界がどのように取り組んでいけるのか、対話を深めたいと考える。特に、関西では、万博を控えて、未来をリードすべく、さまざまなステークホルダー、あらゆる世代との議論していきたい。

開会挨拶

日本学術会議近畿地区会議代表幹事・
日本学術会議第三部会員・京都大学学術情報メディアセンター教授

小山田耕二

日本学術会議副会長挨拶

日本学術会議副会長・
東京大学未来ビジョン研究センター教授

高村ゆかり

趣旨説明

日本学術会議第三部会員・
大阪大学サイバーメディアセンター長

下條 真司

講演

基調講演

「カーボンニュートラルー 持続可能な社会に向けて」
日本学術会議第一部会員・
大阪大学大学院法学研究科教授

大久保規子

話題提供 1

「住まいの脱炭素化への取り組み」
積水ハウス株式会社
環境推進部長兼温暖化防止推進室長

近田 智也

話題提供 2

「長期気候緩和シナリオ研究とカーボンニュートラル」
京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻准教授

藤森真一郎

話題提供 3

「Z世代と気候変動」
京都大学大学院地球環境学堂地球環境政策論分野・
Fridays For Future Japan

内藤 光里

パネル討論・全体総括

コーディネータ:

日本学術会議第三部会員・
大阪大学サイバーメディアセンター長

下條 真司

上記の講演者に加えて、

京都市環境政策局 地球温暖化対策室
エネルギー政策部長

永田 綾

日本学術会議連携会員・
神戸大学経済経営研究所副所長

西谷 公孝

閉会挨拶

日本学術会議第一部会員・
京都大学大学院法学研究科教授

高山佳奈子

総司会

日本学術会議第二部会員・
京都大学野生動物研究センター教授

村山 美穂

主催

日本学術会議近畿地区会議、京都大学

後援

公益財団法人日本学術協力財団

お問合せ先

日本学術会議近畿地区会議事務局 (京都大学研究推進部研究推進課内)

Tel: 075-753-2270 Fax: 075-753-2042 E-mail: kensui.soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

海空宇宙のCOVID-19対応と 今後のパンデミック対応に向けて

日時: 2021年9月22日(水) 13:30~17:10 オンライン形式

開催趣旨: COVID-19によるパンデミックで国際運輸部門は大きな影響を受けている。海運、空輸、宇宙活動の各分野における現状と現場の対応事例を総括し、今後の展開を分野横断的に議論し、パンデミックに今後どのように対応するのか、またそれを見据えた国際運輸システムをどのように構築するのかを展望する。

司会 伊藤 恵理 (日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻准教授、
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所主幹研究員)

13:30	趣旨説明	鈴木 真二 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授、 未来ビジョン研究センター特任教授)
13:35	挨拶	宿利 正史 (一般財団法人運輸総合研究所 会長)
13:40	COVID-19と海洋—パンデミックは何をもたらしたか—	坂元 茂樹 (日本海洋政策学会長、公益財団法人人権教育啓発 推進センター理事長、神戸大学名誉教授)
14:00	COVID-19の航空産業への影響と維持 —運輸、製造	李家 賢一 (東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 航空宇宙システム学講座教授)
14:20	COVID-19に対応した船舶運航対策及び認証動向	平田 純一 (一般財団法人日本海事協会調査開発センター長、 交通物流部長)
14:40	国際空港におけるCOVID-19対応と国 際渡航再開への課題	宮本 秀晴 (成田国際空港株式会社経営企画部門)
14:52	港湾における感染症に関する取組み	遠藤 仁彦 (国土交通省港湾局技術参事官)
15:05	休憩	
15:20	パンデミックへの疫学的国際対応	田中 純子 (日本学術会議連携会員、 広島大学理事・副学長・大学院医系科学研究科教授)
15:40	航空分野におけるCOVID-19対策・国際連携	平嶋 隆司 (国土交通省大臣官房審議官航空局担当)
16:00	国際宇宙ステーション活動における COVID-19対策の概要	三丸 敦洋 (国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 総括医長)
16:20	パンデミック対応も考慮した病院船構想及び 今後のクルーズのあり方	池田 良穂 (大阪府立大学名誉教授)
16:30	質疑応答	
17:00	総括と閉会の挨拶	大和 裕幸 (日本学術会議連携会員、 (一財)次世代環境船舶開発センター代表理事)

Zoom Webinarによるオンライン開催 参加申込方法 (定員 950名)

参加をご希望の方は、9月21日(火) 17:00までに、下記URLまたはQRコードで申し込みください。

<https://kokucheese.com/event/index/615013/>

申し込みいただいた方には、開催日までに、視聴用URLをメールにてご連絡いたします。

問い合わせ先 フロンティア人工物公開シンポジウム事務局 frontier@m.mpat.go.jp

主催: 日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同 フロンティア人工物分科会

共催: 一般財団法人運輸総合研究所、東京大学未来ビジョン研究センター

後援: 一般社団法人日本航空宇宙学会、公益社団法人日本船舶海洋工学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人航空イノベーション推進協議会、公益社団法人日本航海学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人日本流体力学会、一般社団法人プラズマ・核融合学会、日本海洋政策学会、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所

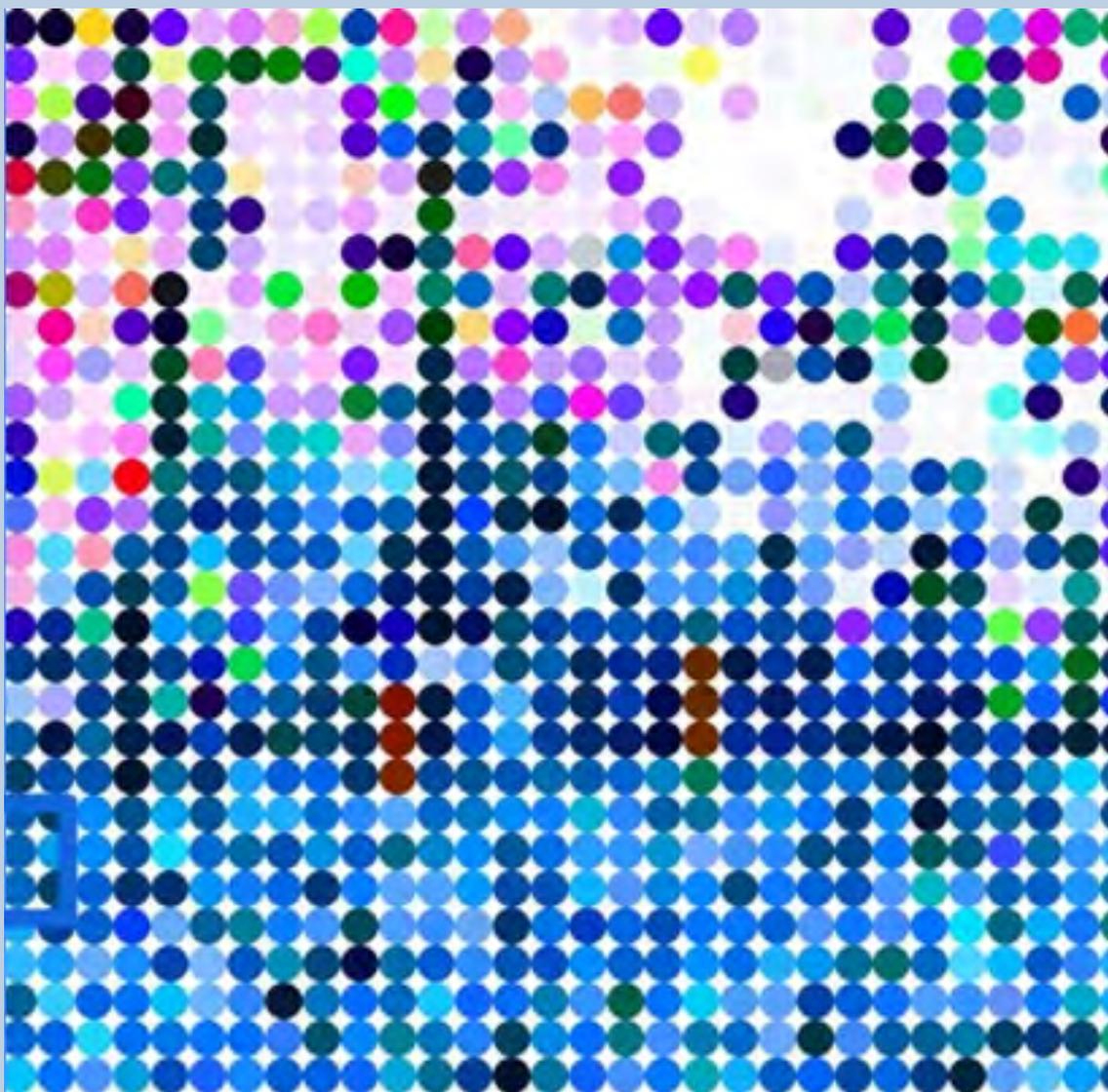


公開シンポジウム

WITH/AFTERコロナ時代の看護と デジタルトランスフォーメーション

日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会、
健康・生活科学委員会・臨床医学委員会合同
少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会主催

令和3年9月25日（土）13:00～16:00
オンライン開催



[申し込みフォームはこちら](#)



PROGRAM

コロナウイルス禍の健康危機では、テクノロジーやAIを効果的に活用し、長期的な展望をもった看護のイノベーションが求められている。デジタルトランスフォーメーションは、テクノロジーを駆使して、新たな看護を構築するモデルのひとつである。

本シンポジウムでは、コロナ禍で浮かび上がった健康と暮らしを守り育むためのデジタルトランスフォーメーションに関わる看護職と協働する専門家と共に、看護ケアの将来像を改めて考えたい。

挨拶 梶田隆章（日本学術会議会長、東京大学宇宙線研究所教授）
武田洋幸（日本学術会議第二部部長、東京大学執行役副学長）

講演（敬称略）

1. 在宅療養を変えるデジタルトランスフォーメーション
真田弘美（日本学術会議連携会員、東京大学大学院医学系研究科教授）
2. 基礎疾患の悪化を防ぐプロアクティブケア
森山美知子（日本学術会議連携会員、広島大学大学院医系科学研究科教授）
3. 人の交流が認知機能にもたらす働きと看護（仮題）
西田真也（日本学術会議第一部会員、京都大学大学院情報学研究科教授）
4. ロボティクスとデジタルトランスフォーメーション
萩田紀博（日本学術会議第三部会員、大阪芸術大学アートサイエンス学科長・教授、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、知能ロボティクス研究所所長）
5. 看護教育のデジタルトランスフォーメーション
小池武嗣（聖隷クリストファー大学助教）

指定発言

本間雅江（読売新聞東京本社、編集局医療部部長）
和氣純子（日本学術会議第一部会員、東京都立大学大学院人文科学研究科教授）

総合討論

司会：
小松浩子（日本学術会議第二部会員、日本赤十字九州国際看護大学学長）
萱間真美（日本学術会議連携会員、聖路加国際大学大学院看護学研究科教授）

共 催：一般社団法人 日本看護系学会協議会
後 援：公益社団法人 日本看護協会、一般社団法人 日本看護系大学協議会、
公益社団法人 日本看護科学学会